

# オオサカン楽員の 楽器の小屋～オオサカンサウンドの源～

楽員と楽器の関係を探る連載企画、第9弾は \\ トロンボーン奏者 河毛 博子！ //  
楽器へのこだわりや大事にしていることを伺います。

トロンボーン  
河毛 博子 Hiroko Gamo



## 現在使っている楽器のメーカー名・モデル名は？

### ①シャイアーズ(S.E.Shires)

カスタムシリーズ・アレッシモデル(TBALESSI)



### ②ビー&エス(B&S)

チャレンジャーシリーズ3085B-GB



トロンボーンは、アルト・テナー・テナーバス・バストロンボーンなど様々な種類があります。吹奏楽やオーケストラの1st, 2ndトロンボーン奏者は、3mほどの長さの管を2回曲げただけの最もシンプルな形のトロンボーン「テナートロンボーン」にF管(迂回管)を取り付けた、「テナーバストロンボーン」を演奏することが主流です。レバーを引くと、Bb管のテナートロンボーンに迂回管の長さが追加され低いF管に変わり、テナーでは出せない低い音が出せるようになります。現在使っている楽器はどちらも「テナーバストロンボーン」です。



## パーツに関して教えてください。

### ◆マウスピース

こちらも楽器と同様、ジョセフ・アレッシ氏監修の、ラスキー(Laskey)アレッシ・シグネチャーモデル55ソロモデルと55シンフォニーモデルの2種類を使用しています。アレッシ氏は67という大きいサイズのものを使っておられますが、私は自分の口に合う最適なサイズとして55を使用しています。独奏や、大編成の中で音をクリアに演奏したい時は55ソロモデルを、オケ中でしっかりハーモニーを構築したい時は55シンフォニーモデルと使い分けています。



### ◆リードパイプ

シャイアーズのアレッシモデルはリードパイプが着脱式になっており、自分仕様にカスタマイズすることが可能です。マウスピースとの相性もあり、私は55ソロモデルを演奏するときは2.5ロングを、55シンフォニーモデルを演奏するときは2ロングを使用していることが多いです。



### ◆ハンドグリップ

#### ワイズグリップ(WISE GRIP)トロンボーンハンドグリップ

シャイアーズに変えた時に、楽器の重さに体が耐えられなくなってしまい、あれこれ探して試し、このグリップに出会いました。人間工学に基づき設計されたハンドグリップだそうで、左手と腕への負担が軽減し、長時間の演奏でも安定して楽器が持てるようになりました。手放せないアイテムのひとつです。



## 現在使っている楽器を選んだ理由や気に入っているところは？

以前は②ビー&エスを使用していましたが、昨年の11月より①シャイアーズのアレッシモデルをメインで使用しています。この楽器を監修し、実際に演奏しておられるニューヨーク・フィルハーモニック首席トロンボーン奏者のジョセフ・アレッシ氏と今年の2月からレコーディング・定期演奏会で共演することが決まっていたため、ずっと憧れていた彼の音に一歩でも近づけるよう、セクションで彼と同じモデルに揃えることにしました。いざ購入し練習してみると、それまで使用していたビー&エスに比べ、楽器が重くなりスライドもワイドになったので、最初は戸惑うこともありましたが、今ではアレッシモデルの柔らかくて暖かみのある濃厚な音色や、反応の良さとパワフルかつ豊かなサウンドをととても気に入っています。2024年3月の定期演奏会では、アレッシ氏含めトロンボーン奏者4人全員が同じメーカーのマウスピース・楽器を使用したため、ご来場くださった多くのお客様にトロンボーンセクションのサウンドのまとまりを十二分に感じていただけたのではないのでしょうか。

## 楽器ケースのポイントは？

シャイアーズの純正ハードケースを使用しています。楽譜が入られる大きめのバッグが付いており、直近で必要な楽譜やエチュード、出会った方にすぐお渡しできるよう宣伝用チラシ等を入れています。ケースの中にも小物を入られるスペースが広くとってあり、お手入れグッズとリードパイプを収納しています。楽器ケースを開けたらすぐ目に飛び込んでくるように、アレッシ氏とメンバーとの思い出の写真を貼っており、いつもその写真を見て元気と勇気もらっています。



## 練習の際、常に持ち歩いているものは？



①ウルトラピュア(ULTRA-PURE)のアレッシフォーミュラというスライド用のオイル、スライドを滑らせるための②ウォータースプレー、ロータリーバルブの動きをよくするための③ヤマハ(YAMAHA)のローターオイル、④V.バック(V.Bach)のチューニングスライドグリス、F管レバーの動きをよくするための⑤J.マインルシュミット(J.MeinlSchmidt: JM)のペアリング&リンゲージオイル、⑥掃除用ガゼ、⑦ダク(DAC)のスライド掃除用マルチワイパーロング、⑧スワブ(マウスピース用・主管F管用・スライド用)、⑨スライド掃除棒、⑩耳栓、⑪鉛筆・消しゴム、⑫リップ、⑬ラウン(roun)のCBDスポーツバーム(体のケア用)、⑭漢方数種類。スライドのお掃除グッズが多めです。その時々スライドの状態によってお手入れ道具を使い分けています。

## 楽器を演奏する時に大事にしていることは？

奏者間の音でのコミュニケーションです。オオサカンで演奏する際はトロンペット奏者の岡原さんとのバランスを1番に考えています。感覚的なところですが、岡原さんの素晴らしい音を乗せられるような、支えとなれるようなトロンボーン奏者を目指しています。そしてトロンボーンからローブラスにかけてのバランスを取ることも常に意識しながら、トロンボーンセクションのハーモニーの美しさと、団結した時の力強さを特に大事にしています。また、セクションで様々な音色を出せるよう日々研究を重ねています！

## あなたにとって「トロンボーン」とは？

自分の中にある言葉や想いを表現するためのもの、声です。言語が違い、言葉ではお互いを理解することが難しくても、一緒に演奏し音を重ねることで不思議と理解ができ、そして親密度が増す。私にとって、人と人とを繋いでくれるとても大切なものです。そして生きる力を与えてもらっているとも思っています。

